

マキノ病院ニュース

人の振り見て、
我が振り直せますか？
医療安全管理者 看護部長 尾方 恵

マキノ病院では、これまで医療安全について様々な活動を職員一同取り組んで参りました。ヒヤリ・ハット、アクシデントの分析と再発防止、安全ラウンド、さらに、ここ数年は安全に対する課題を設定して、それぞれの部署が1年をかけて改善に取り組み、年度末に、院内全職員に向けて部署ごとに成果発表するというものです。因みに、昨年度のテーマは「めざそう、ONE・UP！ホスピタリティ」でした。以前、「接遇への取り組み」という課題に対して成果を発表したのですが、更なる向上を期待

情の高い低いや他者への親密さなどで、評価の点数は変わるものです。重要なのは点数ではなく、自分があるいは誰かが行動をチェックする意識するだけで、自分の行動や言葉かけなどを客観的に見ようとすると、自分の行動を修正する。他のスタッフの行動を評価することで、自分の行動を修正する。本来、意識すべきは評価してくれるスタッフの誰かではなく患者さんのはずなのですが、こういった機会を通して接遇の気づきになってゆくことが重要であると考えます。

マキノ病院を利用して頂いております皆様へ、職員の「おもてなしの心」は届けられていますか。良いコミュニケーションからお受け頂く最良の医療とケアが生まれます。そして、良いコミュニケーションは、患者さんと医療者双方から歩み寄り、コミュニケーションを極力少なくすることで医療事故の回避につながることが出来ると思います。今年のテーマは、「笑顔があふれる職場で築く、医療安全」です。今後とも、皆様方の暖かくも厳しい目で、見守って頂ければ幸いです。

診療科のご案内
内科・外科・肛門外科・小児科・整形外科・皮膚科
神経内科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



性20・6%がBMI (Body Mass Index) 25以上、体重(kg)÷身長(m)が25以上の肥満に該当し、男性では1978年(17・6%)の約1・8倍に増加しています。

食はず過ぎや運動不足によって体で使われるエネルギー量よりも食事で

肥満と消化器疾患について

内科 竹村 雅至

入ってくるエネルギー量が多いときに余った分が体脂肪として貯められることで肥満になります。内臓脂肪の増加は全身に慢性的な炎症を引き起こし、脂質異常症、高血圧、糖尿病、さらに脳卒中や心筋梗塞も合併しやすくなります。その他に

炎症、胆のう結石、膵炎、様々な消化器がん(肝臓、膵臓、胃、食道、大腸、胆嚢)の発症リスクになるとされています。

大腸がんの多くは、進行した場合に血便、便が細くなる、残便感、腹痛、便秘、下痢、貧血、腹部膨満感、急激な体重減少等の症状が現れて初めて気づくケースが多いとされます。

近年、メタボリックシンドロームという言葉が定着してから中高年男性のぽっこり出たお腹に代表される内臓脂肪型肥満とその合併症について注目されるようになりました。今回は肥満と消化器疾患についてお話をさせていただきます。

わが国では、男性31・3%、女

国民の約半数ががんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われていますが、大腸がんの死亡率は増加しており、女性で1位、男性で3位と大きな問題になっています。以前より家族歴が危険因子とされてきましたが、食生活の西欧化に伴って増加していることから、最近では内臓脂肪型肥満が危険因子と考えられています。

大腸がんの予防には赤身肉や加工肉の過剰摂取を控え、運動を積極的に行うことが有効です。定期健診でメタボリックシンドロームを指摘されご心配の場合は、一度内科外来を受診してください。